

平成 17 年 1 月 27 日

大反響 予約殺到 キャンセル待ちも!!

託児サービス「シネマたっく」でリフレッシュできました!!

副都心池袋の再生・活性化策について検討、調査を行なう「映画による『まち』の再生・活性化協議会」(会長：立教大学文学部教授・前田英樹氏)が試行する託児サービス「シネマたっく」が、本日 27 日(木)から 29 日(土)の 3 日間実施されている。早々に満員になるという盛況ぶりで、「シネマたっく」を利用する人は映画料金も割引料金で 1,000 円になる。

「シネマたっく」は、普段自由な時間が取れない乳幼児を持つ人に、安心して映画を鑑賞し、ゆっくりと食事や買い物なども楽しんでもらおうと、池袋シネマ振興会(代表：新文芸坐・永田稔氏)の主催でイベント託児専門会社 株式会社マザーズと提携して実施している。

●託児サービス「シネマたっく」

日 程：1 月 27 日(木)・28 日(金)・29 日(土) (予約締切り済み)
場 所：池袋駅西口・エポック 10 (西池袋 1-11-1 池袋リハビリプラザ 10 階) 保育室ほか
池袋駅東口・豊島区民センター (東池袋 1-20-10) 託児室ほか
時 間：午前 10 時～午後 6 時 預かり時間：2 時間 30 分～4 時間 (30 分単位)
料 金：2.5 時間 1,000 円、～3 時間 1,500 円、～3.5 時間 2,000 円、～4 時間 2,500 円
対象年齢：0 歳児～12 歳児

* 託児サービス利用者は映画料金が 2 人まで 1,000 円になる。(b u k u 割特別利用)

●「シネマたっく」申し込み状況 (26 日現在)

3 日間の予約は合計約 90 件、子どもは約 120 人。現在はキャンセル待ちが 45 件もある状況。申し込み時間帯で一番多いのが、午前 10 時からの 4 時間託児で約 20 件、次が 12 時から 4 時間の約 10 件、3 番目は 10 時から 3 時間の順(申し込み者数)となっている。区内在住者は 18 件のみで、区外からの来街者を確実に呼び込んでいる。また、平日は女性数名のグループが多く、土曜日はほとんど夫婦など二人での申し込みとなっている。たまには夫婦でゆっくりと映画を観たい、友達と自由な時間を過ごしたいという“おかあさん”たちのリフレッシュに一役買った。利用者は、午前中に映画鑑賞、ランチやショッピングを楽しみ、早めに帰宅するという姿が浮かび上がってくる。街の回遊性を高めるという協議会の今後の課題を把握するために、今回のアンケート集計を活かしていく。

●初日の利用者の感想

「映画を友達と観に来られたのが嬉しかった。(映画以外で行きたい所は)時間があれば、食事にも行きたかった。」…友達の岡野さんと二人で利用した練馬区西大泉在住の斎藤さん。なかなか帰りがたがらない子どもに声をかけながら感想を語ってくれた。

「この子が 3 番目なので、10 年以上映画に行っていませんでした。リフレッシュできました。ありがとうございます。」…お友達と二人で利用した区内在住の方は声を弾ませて応えてくれた。

「子ども(今 9 ヶ月)が生まれてから初めて夫婦で映画を見ました。(笑顔満面で)妻が電話で申し込んだのだけれど、なかなか電話が繋がらなかった。大好評です。学生時代も池袋の映画館は狭いところが多く、普段は新宿の映画館を利用していたので、『シネマたっく』があったから、池袋まで観に来ました。映画の後、久しぶりにラーメン屋さんに行きました。」…西東京市在住の若い夫婦。

●アンケートの内容…アンケート用紙（別紙）

1-3 映画以外に立寄ったところ→映画館鑑賞後に立寄ってみたいところ

レストラン、食事→ショッピングや食事

1-4 「シネマたっく」を利用して

回りを気にせずゆっくり見れた。リフレッシュできた。（子どもを）見てくださる方がいて、目が行き届いている様子。久しぶりに子ども抜きで出かけられて、とてもリフレッシュしました。

2-4 今後も映画を楽しめる街池袋に向けての意見

託児があると安心して見られるのでぜひ続けて欲しい。若いママなど利用しやすいと思う。もっと早く始めて欲しかった。気軽にショッピングや映画、お茶などで子どもをあずけられるようお願いします。これからもサービスを続けて欲しい。

●「映画による『まち』の再生・活性化協議会」

昨年11月、平成16年度全国都市再生モデル調査（内閣官房都市再生本部、国土交通省所管）に区が推薦する池袋シネマ振興会の提案「映画による『まち』の再生・活性化」が選定され、池袋シネマ振興会、地域関係者、区内大学、豊島区が連携し「映画による『まち』の再生・活性化協議会」を設置した。協議会は、池袋シネマ振興会、地域住民、大学、行政の「産・学・官」が連携・協働して行う副都心池袋の再生・活性化策について検討、調査をしていくもので、「シネマたっく」は、この調査のひとつとして試行される。池袋の来街者や区民が映画やショッピングなどを楽しみ、池袋の街に長く滞在してもらおうというもの。利用者アンケート調査の結果を協議会で検証をしていく。

●池袋シネマ振興会

豊島区は、昭和初期に西巢鴨の大都撮影所、池袋の人生坐、文芸坐といった名画坐でにぎわい、映画による大衆文化を育ててきた。現在も合計9館19スクリーンの映画館が存在する。平成15年8月、映画館からにぎわい溢れる街の創出と池袋の街・豊島区の活性化を図ることを目的に、区内全映画館9館の連合体「池袋シネマ振興会」が発足した。各地に増える“シネコン”に対抗し、まち全体を一つの大きな“シネコン”にとらえ、集客増を目指す。池袋シネマ振興会はフリーペーパー「b u k u（ぶく）」の発行や、毎月29日を「ブクの日」として入場料割引など各種キャンペーンを実施している。池袋シネマ振興会のホームページ <http://www.c-buku.net/index.html>

詳細： 託児に関する問合せ 株式会社マザーズ
協議会について (財)豊島区街づくり公社
池袋シネマ振興会関係 広報担当

平成 17 年 1 月 6 日

託児サービス「シネマたっく」試行

～さあ映画に行こう！池袋なら、独身気分映画とショッピングができます～

「映画による『まち』の再生・活性化協議会」は、「長く滞在できる池袋」を目指した託児サービス「シネマたっく」を試行実施する。小さなこどもを持つ人が安心して映画を鑑賞し、その後ゆっくりと食事や買い物なども楽しんでもらえるよう、池袋シネマ振興会が主体になり、イベント託児専門会社 株式会社マザーズと提携して行なう。「シネマたっく」を利用する人は映画料金も割引料金で 1,000 円になる。申し込み受付は 1 月 11 日（火）から始まり各実施日前日まで。期間中利用者アンケート調査を行ない協議会で検証をしていく。（池袋シネマ振興会代表：新文芸坐・永田稔氏、「映画による『まち』の再生・活性化協議会」会長：立教大学文学部教授・前田英樹氏）

<託児サービス「シネマたっく」>

日 程：1 月 27 日（木）・28 日（金）・29 日（土）

申し込み受付期間：1 月 11 日（火）から各実施日前日まで（完全予約制、定員になり次第締切り）

場 所：池袋駅西口・エポック 10（西池袋 1-11-1 メトロポリタンプラザ 10 階）

「保育室」（27・29 日）、「会議室」（28 日）

池袋駅東口・豊島区民センター（東池袋 1-20-10）

「和室」（27・28 日）、「託児室」（29 日）

時 間：午前 10 時～午後 6 時 預かり時間：2 時間 30 分～4 時間（30 分単位）

料 金：2.5 時間 1,000 円、～3 時間 1,500 円、～3.5 時間 2,000 円、～4 時間 2,500 円

定 員：エポック 10「保育室」「会議室」、区民センター「和室」=15 名

区民センター「託児室」=10 名

対象年齢：0 歳児～12 歳児

申し込み：株式会社マザーズ 電話 03-3294-1544（土日祝日除く 10～12 時 13～17 時）

* 託児サービス利用者は映画料金が 1,000 円になります。（b u k u 割特別利用）

<シネマ振興会> 区内全映画館 7 社 9 館 19 スクリーン

映画館名（スクリーン数）	27～29 日の主な上映作品（予定）
池袋シネマサンシャイン（6）	カンフー・ハッスル、タクシーNY、北の零年、ハウルの動く城、Mr.インクレディブル、エイリアン VS. プレデター（～28 日）、オペラ座の怪人（29 日）
池袋東急（1）	オーシャンズ 1 2
池袋 HUMAX シネマズ 4（4）	ハウルの動く城、ネバーランド、東京タワー、ターミナル
シネマ・ロサ（2）	オーシャンズ 1 2、マイ・ボディーガード（～28 日）、スパイバウンド（29 日）
シネ・リーブル池袋（2）	天井桟敷の人々（～28 日）、テニスの王子様（29 日）、バッチギ！
シネロマン池袋（1）	
新文芸坐（1）	27 日ハッピーエンド、浮気な家族、28 日ロスト・メモリーズ、MUSA、29 日リメンバー・ミー、純愛中毒
テアトル池袋（1）	僕の彼女を紹介します
テアトルダイヤ（1）	とっつこハム太郎（～28 日）、犬夜叉（～28 日）、レイ（29 日）

*上映スケジュールは池袋シネマ振興会のホームページ参照。

<http://www.c-buku.net/schedule/schedule.html>

池袋は六本木・汐留など再開発による最新の大規模集客施設に押されぎみで集客数も年々減少傾向にある。このため、区は「文化の風薫るまち としま」を方針に掲げ、文化と都市再生によって来街者の多いにぎわいのあるまちづくりを進めている。昨年11月、平成16年度全国都市再生モデル調査（内閣官房都市再生本部、国土交通省所管）に、豊島区が推薦する池袋シネマ振興会の提案「映画による『まち』の再生・活性化」が選定され、池袋シネマ振興会、地域関係者、区内大学、豊島区が連携し「映画による『まち』の再生・活性化協議会」を設置した。協議会は、池袋シネマ振興会、地域住民、大学、行政の「産・学・官」が連携・協働して行う副都心池袋の再生・活性化策について検討、調査をしていくもので、「シネマたっく」は、この調査のひとつとして試行される。

豊島区は、昭和初期に西巢鴨の大都撮影所、池袋の人生坐、文芸坐といった名画坐でにぎわい、映画による大衆文化を育ててきた。現在も合計9館19スクリーンの映画館が存在する。平成15年8月、映画館からにぎわい溢れる街の創出と池袋の街・豊島区の活性化を図ることを目的に、区内全映画館9館の連合体「池袋シネマ振興会」が発足した。各地に増える“シネコン”に対抗し、まち全体を一つの大きな“シネコン”にとらえ、集客増を目指す。池袋シネマ振興会はフリーペーパー「b u k u（ぶく）」の発行や、毎月29日を「ブクの日」として入場料割引など各種キャンペーンを実施している。池袋シネマ振興会のホームページ <http://www.c-buku.net/index.html>

詳細： 託児に関する問合せ 株式会社マザーズ
池袋シネマ振興会関係 広報担当